

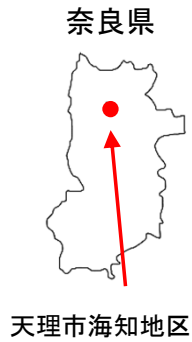
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 大和平野に位置し、水田作と畑作が主体の都市的地域
- 高齢化の進展や後継者不足に伴い、新たな農地の受け手・担い手を育成・支援していく必要がある地区

【支援内容・背景】

- 地域の担い手の経営を発展させ、農地の受け手・担い手を確保するため、地域で若手農業者の経営を支援し、育成する必要。
- 助成対象者は地区内でイチゴ経営を営む者であり、近年、出荷量増加を志向。併せて、研修生を受け入れ、人材育成も実践。
このため、イチゴの経営面積の拡大を支援し、地区における中心的な担い手として育成。



助成対象者の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成21年 イチゴ経営開始
- 平成30年 経営改善計画認定
- 令和5年 法人化

《事業活用の背景》

- イチゴの出荷量増加を図るためには、経営面積の拡大を図り、生産体制の強化が必要。
- 経営面積の拡大に向け、効率的な生産に資するイチゴ高設ハウスを導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

- 売上高 52百万円
- 経営面積 0.6ha

《事業による整備内容》

ビニールハウス 705㎡

事業費10,158 千円
(国費 2,770千円)



【現在の経営状況】
〈R5年度〉

- 売上高 120百万円 **(230%)**
- 経営面積 1ha **(167%)**

事業の
効果

《対象者》 イチゴの出荷量が増加し、出荷団体での有利販売が可能となったことで、売上高の増加を実現。

《地区》 若手農業者への経営支援により、イチゴや花きなど多様な品目を生産する地域の中心的な経営体の育成を実現。